



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 セーレン株式会社

コード番号 3569 URL <http://www.seiren.com>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 川田 達男

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 総務担当 (氏名) 坪田 敏郎

TEL 0776-35-2111

四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日

配当支払開始予定日

平成24年11月28日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	46,347	13.5	2,285	62.4	2,280	49.7	1,222	34.0
24年3月期第2四半期	40,832	△5.0	1,407	△36.0	1,523	△38.8	911	△23.3

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 1,295百万円 (49.8%) 24年3月期第2四半期 865百万円 (59.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	20.56	—
24年3月期第2四半期	15.22	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	89,952	47,061	51.8	783.47
24年3月期	88,703	46,079	51.4	766.98

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 46,587百万円 24年3月期 45,606百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
25年3月期	—	5.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	7.50	12.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	93,000	8.1	5,650	58.4	5,550	43.3	3,450	62.8	58.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は添付資料4ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	64,633,646 株	24年3月期	64,633,646 株
25年3月期2Q	5,171,117 株	24年3月期	5,171,117 株
25年3月期2Q	59,462,529 株	24年3月期2Q	59,925,591 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

【添付資料】

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2 四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2 四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期における日本経済は、東日本大震災の復興需要や政策効果により緩やかな回復傾向がみられましたが、欧州債務問題や新興国経済の減速、さらに長期化する円高など、依然として不透明な経営環境が続きました。

当社グループでは、「21世紀型企业への変革！」を中期方針に掲げ、変化し続ける経営環境においても、常にお客様のニーズに応え、かつ安定した収益確保と継続的な企業成長を果たすため、“新規事業の拡大”と“グローバル事業の拡大”を柱とした中期事業戦略に取り組んでおります。併せて、生産性向上や業務の効率化・改善、徹底した経費削減による収益力強化を図るとともに、中期事業戦略の遂行に必要な人材育成および組織機能の拡充など、企業体質の強化に注力しております。また、グループ関連会社におきましては、一層の経営効率化を図るため、合併および事業の見直しを行いました。

当第2四半期の連結業績は、売上高 463 億 47 百万円（前年同期比 13.5%増）、営業利益 22 億 85 百万円（同 62.4%増）、経常利益 22 億 80 百万円（同 49.7%増）、四半期純利益 12 億 22 百万円（同 34.0%増）となりました。

セグメント別の業績概況は、次のとおりです。

なお、当第2四半期より、事業領域の拡張を鑑みて、従来の「オートモーティブ」は「車両資材」に、「インテリア・ハウジング」は「環境・生活資材」に、セグメントの名称をそれぞれ変更しております。

(車両資材事業)

国内事業では、前年の震災影響による反動増やエコカー補助金効果による需要回復を背景に、前年同期比増収・増益となりました。また、当車両資材事業の中期戦略商品として開発・拡販を進める高付加価値商品「革を超える新素材（Q U O L E）」が、市場で高い評価を受け売上高を伸ばしました。さらに今後の増注に対応すべく、海外子会社での生産ラインが本格稼働を開始します。

海外事業では、北米をはじめ中国・タイにおける日系自動車メーカーの生産増加を受け、現地子会社が大幅に売上高を伸ばしました。また、インド・インドネシアでは 2013 年夏の稼働を目指し、会社設立および生産拠点設立を進めています。

当事業の売上高は 233 億 9 百万円（前年同期比 31.4%増）、営業利益 14 億 42 百万円（同 187.8%増）となりました。

(ハイファッション事業)

ファッション衣料およびスポーツ衣料の市場は、前年の震災影響による反動増により回復の動きがみられるものの、長引くデフレや消費者の節約意識の定着により、市場における企業間競争はより厳しさを増しています。

当社グループのファッション事業では、涼しさ、軽さ、着心地など、衣類に求められる快適ニーズを満たす機能素材に加え、唯一無二の差別化企画を融合したビスコマテリアル商品などが大きく売上高を伸ばしました。さらに、多品種・小ロット・短納期を実現する独自技術のビスコテックス生産システムが多様化する消費者ニーズに合致し、前年同期比増収・増益となりました。また、KBセーレン(株)の衣料向け特殊原糸および差別化素材販売も堅調に推移しました。

海外事業では、2012年3月にタイ子会社のサハセーレンにおいて衣料製品の生産を開始しております。価格競争力のある差別化商品を提供するとともに、同一工場内で原糸から製品までの全工程を一貫管理することで実現する“高い品質”と“確かな納期管理”を強みに、今後、拡販を進めてまいります。

当事業の売上高は 143 億 83 百万円（前年同期比 3.6%増）、営業利益は 5 億 30 百万円（同 22.3%増）となりました。

(エレクトロニクス事業)

長期化する円高や新興国メーカーの台頭による価格競争の激化に加え、エレクトロニクス市場における消費低迷の影響を受け、電磁波シールド材「プラット®」、KBセーレン(株)のエレクトロニクス向け

特殊原系および資材が前年同期比減収・減益となりました。

新事業のビスコテックス・システム販売については、多様化する消費者ニーズへの対応を省資源・省エネルギーで実現する生産システムとして拡販を進めております。

当事業では、繊維を始めとする高分子材料と導電性機能、インクジェット技術との複合技術など、当社グループの差別化シーズを活かした新商品開発を継続し、新たな価値創造に取り組んでいきます。

当事業の売上高は 22 億 33 百万円（前年同期比 31.8%減）、営業損失は 1 億 75 百万円（前年同期は営業利益 76 百万円）となりました。

（環境・生活資材事業）

震災後、新設住宅着工戸数は緩やかな回復基調に戻りつつあり、その中でも住宅に対する省エネ（節電）ニーズは急速な高まりをみせています。このような市況の中、室内空間を快適にしつつ省エネを実現するKBセーレン(株)の特殊原系「イレイド®」を用いた遮熱ブラインド資材や遮熱型透湿ルーフィング材「ルーフ ラミテクト® RX」が売上高を伸ばしました。また、環境生活資材では、「より快適な暮らし」の提供を目指し、快適機能を持ち合わせた寝装商品等、当社グループの一貫機能を活かした差別化商品群が売上高を伸ばしました。

当事業の売上高は 33 億 41 百万円（前年同期比 14.8%増）、営業利益は 3 億 32 百万円（同 13.5%増）となりました。

（メディカル事業）

化粧品事業では、ネット販売強化に加え、百貨店での常設売場設置と継続的な催事展開による新規顧客の獲得に力を入れ、前年同期比増収・増益となりました。また、卓越した消臭機能を持つアンダーウエアシリーズ「DEOEST®」は、新商品投入と顧客開拓を進め売上高を伸ばしました。

メディカル資材では、KBセーレン(株)の特殊伸縮性不織布「エспанシオーネ®」や人工血管基材等、グループ一貫機能を活かした差別化商品が売上高を伸ばしたものの、前年同期に震災特需で売上高を伸ばした一部の商品において、反動減による売上高の減少がありました。

当事業の売上高は 25 億 67 百万円（前年同期比 0.8%増）、営業利益は 5 億 84 百万円（同 18.4%増）となりました。

（その他の事業）

セーレン商事(株)の保険代理事業のほか、いずれの事業も堅調に推移しました。

当期初には、連結子会社であった(株)セーレンシステムサービスを、医療情報システムのソフトウェア開発・販売事業の拡大を目的に吸収合併し、事業の選択と集中を行ないました。

当事業の売上高は 5 億 12 百万円（前年同期比 6.0%増）、営業利益は 1 億 67 百万円（同 12.6%減）となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

当第 2 四半期末における総資産は、受取手形及び売掛金などの流動資産の増加や、設備投資による有形固定資産の増加により、全体で前期末と比較して 12 億 49 百万円増加の 899 億 52 百万円となりました。負債の部は、長期借入金が増減しましたが、支払手形及び買掛金の増加などにより 2 億 67 百万円増加し、428 億 90 百万円となりました。純資産は、利益剰余金の増加などにより 9 億 81 百万円増加し、470 億 61 百万円となりました。

キャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益 21 億 25 百万円、減価償却費 20 億 79 百万円などの資金増加要因があり、全体では 36 億 27 百万円の収入となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得などにより 31 億 64 百万円の支出となり、その結果、フリー・キャッシュ・フローは 4 億 63 百万円の増加となりました。また、財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の返済や配当金の支払などにより、6 億 34 百万円の支出となりました。これらの結果、現金及び現金同等物は前期末より 1 億 44 百万円減少し、当第 2 四半期末残高は 32 億 22 百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

中国における日本車の販売低迷を受け、当社グループにおいても中国子会社の生産数量が減少するなどの影響が出ております。一方、その他の海外子会社および国内事業は堅調に推移しており、現時点においては、通期の連結業績予想は平成 24 年 5 月 10 日の発表値を据え置くものとしますが、見通しに大きな差異が生じた場合は、速やかに開示いたします。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第 2 四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第 1 四半期連結会計期間より、平成 24 年 4 月 1 日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これによる損益に対する影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,498	3,335
受取手形及び売掛金	21,789	22,229
商品及び製品	7,483	7,592
仕掛品	2,059	2,294
原材料及び貯蔵品	3,069	2,893
その他	2,370	2,273
貸倒引当金	△15	△14
流動資産合計	40,255	40,603
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	20,867	21,232
機械装置及び運搬具（純額）	8,473	8,601
工具、器具及び備品（純額）	297	349
土地	9,540	9,547
その他（純額）	2,180	1,676
有形固定資産合計	41,359	41,407
無形固定資産	454	479
投資その他の資産		
その他	6,681	7,502
貸倒引当金	△48	△40
投資その他の資産合計	6,633	7,461
固定資産合計	48,447	49,348
資産合計	88,703	89,952
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,067	13,483
短期借入金	7,593	7,957
未払法人税等	753	747
賞与引当金	1,016	1,030
その他	3,638	3,795
流動負債合計	26,068	27,014
固定負債		
長期借入金	9,930	9,257
役員退職慰労引当金	174	174
退職給付引当金	5,555	5,512
負ののれん	158	142
その他	735	790
固定負債合計	16,555	15,875
負債合計	42,623	42,890

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	17,520	17,520
資本剰余金	16,838	16,838
利益剰余金	19,090	20,015
自己株式	△4,147	△4,147
株主資本合計	49,301	50,226
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	251	151
為替換算調整勘定	△3,946	△3,790
その他の包括利益累計額合計	△3,694	△3,638
少数株主持分	473	474
純資産合計	46,079	47,061
負債純資産合計	88,703	89,952

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	40,832	46,347
売上原価	31,811	35,801
売上総利益	9,020	10,546
販売費及び一般管理費	7,613	8,260
営業利益	1,407	2,285
営業外収益		
受取利息	55	55
受取配当金	32	36
負ののれん償却額	20	16
雇用調整助成金	87	27
その他	129	57
営業外収益合計	326	193
営業外費用		
支払利息	100	85
為替差損	80	98
その他	28	15
営業外費用合計	210	199
経常利益	1,523	2,280
特別利益		
固定資産売却益	23	8
受取和解金	15	—
その他	0	—
特別利益合計	38	8
特別損失		
固定資産処分損	12	10
投資有価証券評価損	—	153
その他の投資評価損	14	—
その他	0	—
特別損失合計	27	164
税金等調整前四半期純利益	1,535	2,125
法人税等	611	883
少数株主損益調整前四半期純利益	923	1,241
少数株主利益	11	19
四半期純利益	911	1,222

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	923	1,241
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△121	△100
為替換算調整勘定	63	154
その他の包括利益合計	△58	54
四半期包括利益	865	1,295
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	855	1,278
少数株主に係る四半期包括利益	9	17

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,535	2,125
減価償却費	2,485	2,079
負ののれん償却額	△20	△16
貸倒引当金の増減額(△は減少)	9	△8
賞与引当金の増減額(△は減少)	△12	14
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△45	△43
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△40	△0
受取利息及び受取配当金	△88	△92
支払利息	100	85
為替差損益(△は益)	△6	△19
固定資産処分損益(△は益)	△11	2
投資有価証券評価損益(△は益)	—	153
売上債権の増減額(△は増加)	127	△405
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,171	△121
仕入債務の増減額(△は減少)	△398	428
未払消費税等の増減額(△は減少)	14	△51
その他	△103	201
小計	2,373	4,329
利息及び配当金の受取額	88	92
利息の支払額	△104	△89
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△1,078	△703
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,279	3,627
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,591	△1,943
有形固定資産の売却による収入	75	26
投資有価証券の取得による支出	△13	△1,172
その他	△162	△75
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,691	△3,164
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	580	553
長期借入れによる収入	1,500	1,000
長期借入金の返済による支出	△1,985	△1,862
配当金の支払額	△299	△297
少数株主への配当金の支払額	△15	△16
その他	△15	△11
財務活動によるキャッシュ・フロー	△236	△634
現金及び現金同等物に係る換算差額	△53	26
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△701	△144
現金及び現金同等物の期首残高	4,831	3,366
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,129	3,222

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント(注)1.2.						その他 (注)1	合計	調整額 (注)3	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)4
	車両資材	ハイファ ッション	エレクト ロニクス	環境・ 生活資材	メディ カル	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	17,738	13,878	3,274	2,909	2,547	40,348	483	40,832	—	40,832
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1	6	226	—	—	234	441	675	△675	—
計	17,739	13,885	3,501	2,909	2,547	40,583	925	41,508	△675	40,832
セグメント利益	500	433	76	292	493	1,796	191	1,987	△580	1,407

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント(注)1.2.						その他 (注)1	合計	調整額 (注)3	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)4
	車両資材	ハイファ ッション	エレクト ロニクス	環境・ 生活資材	メディ カル	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	23,309	14,383	2,233	3,341	2,567	45,835	512	46,347	—	46,347
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	1	266	—	—	267	214	481	△481	—
計	23,309	14,384	2,499	3,341	2,567	46,102	726	46,829	△481	46,347
セグメント利益又は損 失(△)	1,442	530	△175	332	584	2,713	167	2,880	△594	2,285

(注) 1. 各報告セグメント区分の主な製品等は下記のとおりであります。

- (1) 車両資材……………自動車・鉄道車両等内装材(シート材、エアバッグ、加飾部品)
- (2) ハイファッション……………各種衣料製品、衣料用繊維加工
- (3) エレクトロニクス……………ビスコテックス・システム及びサプライ、工業用ワイピングクロス、電子機器
- (4) 環境・生活資材……………建築用資材、インテリア用資材、介護・エコ関連資材
- (5) メディカル……………化粧品、浄水器及びフィルター、医療用製品

なお、「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソフトウェアの開発及び販売、保険代理業を含んでおります。

2. 当第2四半期連結累計期間より、従来の「オートモーティブ」は「車両資材」に、「インテリア・ハウジング」は「環境・生活資材」に、セグメントの名称をそれぞれ変更しております。なお、当該変更はセグメントの名称変更のみであり、事業区分の方法に変更はありません。

3. セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用(前第2四半期連結累計期間653百万円、当第2四半期連結累計期間677百万円)が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務部門などの管理部門に係る費用であります。

4. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。